

## 主日礼拝説教「その一人を見つけ出さなければ」予稿

日本基督教団石神井教会 2017年9月17日

### 【旧約聖書日課】エゼキエル書 37章15～28節

<sup>15</sup>主の言葉がわたしに臨んだ。<sup>16</sup>「人の子よ、あなたは一本の木を取り、その上に『ユダおよびそれと結ばれたイスラエルの子らのために』と書き記しなさい。また、別の木をとり、その上には『エフライムの木であるヨセフおよびそれと結ばれたイスラエルの全家のために』と書き記しなさい。<sup>17</sup>それらを互いに近づけて一本の木としなさい。それらはあなたの手の中で一つとなる。<sup>18</sup>あなたの民の子らがあなたに向かって、『これらはあなたにとって何を意味するのか教えてくださいなさいか』と言うとき、<sup>19</sup>彼らに語りなさい。主なる神はこう言われる。わたしはエフライムの手の中にあるヨセフの木、およびそれと結ばれたイスラエルの諸部族を取り、それをユダの木につないで一本の木とする。それらはわたしの手の中で一つとなる。<sup>20</sup>あなたがその上に書き記した木は、彼らの目の前であなたの手にある。<sup>21</sup>そこで、彼らに語りなさい。主なる神はこう言われる。わたしはイスラエルの子らを、彼らが行っていた国々の中から取り、周囲から集め、彼らの土地に連れて行く。<sup>22</sup>わたしはわたしの地、イスラエルの山々で彼らを一つの国とする。一人の王が彼らすべての王となる。彼らは二度と二つの国となることなく、二度と二つの王国に分かれることはない。<sup>23</sup>彼らは二度と彼らの偶像や憎むべきもの、もろもろの背きによって汚されることはない。わたしは、彼らが過ちを犯したすべての背信から彼らを救い清める。そして、彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。<sup>24</sup>わたしの僕ダビデは彼らの王となり、一人の牧者が彼らすべての牧者となる。彼らはわたしの裁きに従って歩み、わたしの掟を守り行う。<sup>25</sup>彼らはわたしがわが僕ヤコブに与えた土地に住む。そこはお前たちの先祖が住んだ土地である。彼らも、その子らも、孫たちも、皆、永遠に至るまでそこに住む。そして、わが僕ダビデが永遠に彼らの支配者となる。<sup>26</sup>わたしは彼らと平和の契約を結ぶ。それは彼らとの永遠の契約となる。わたしは彼らの住居を定め、彼らを増し加える。わたしはまた、永遠に彼らの真ん中にわたしの聖所を置く。<sup>27</sup>わたしの住まいは彼らと共にあり、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。<sup>28</sup>わたしの聖所が永遠に彼らの真ん中に置かれるとき、諸国民は、わたしがイスラエルを聖別する主であることを知るようになる。」

### 【使徒書日課】コリントの信徒への手紙一 1章10～17節

<sup>10</sup>さて、兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの名によってあなたがたに勧告します。皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一にし思いを一にして、固く結び合いなさい。<sup>11</sup>わたしの兄弟たち、実はあなたがたの間に争いがあると、クロエの家の人たちから知らされました。<sup>12</sup>あなたがたはめいめい、「わたしはパウロにつく」「わたしはアポロに」「わたしはケファに」「わたしはキリストに」などと言い合っているとのことです。<sup>13</sup>キリストは幾つにも分けられてしまったのですか。パウロがあなたがたのために十字架につけられたのですか。あなたがたはパウロの名によって洗礼を受けたのですか。<sup>14</sup>クリスボとガイオ以外に、あなたがたのだれにも洗礼を授けなかったことを、わたしは神に感謝しています。<sup>15</sup>だから、わたしの名によって洗礼を受けたなどと、だれも言えないはずですよ。<sup>16</sup>もっとも、ステファナの家の人たちにも洗礼を授けましたが、それ以外はだれにも授けた覚えはありません。<sup>17</sup>なぜなら、キリストがわたしを遣わされたのは、洗礼を授けるためではなく、福音を告げ知らせるためであり、しかも、キリストの十字架がむなしなものになってしまわぬように、言葉の知恵によらないで告げ知らせるためだからです。

## 【福音書日課】 マタイによる福音書 18章10～20節

<sup>10</sup>「これらの小さな者を一人でも軽んじないように気をつけなさい。言っておくが、彼らの天使たちは天でいつもわたしの天の父の御顔を仰いでいるのである。<sup>11</sup>あなたがたはどう思うか。ある人が羊を百匹持っていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか。<sup>12</sup>はつきり言っておくが、もし、それを見つけたら、迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう。<sup>13</sup>そのように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない。」

<sup>14</sup>「兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。<sup>15</sup>聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。<sup>16</sup>それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい。教会の言うことも聞き入れないなら、その人を異邦人が徴税人と同様に見なしなさい。<sup>17</sup>はつきり言っておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天上でもつなぐがれ、あなたがたが地上で解くことは、天上でも解かれる。<sup>18</sup>また、はつきり言っておくが、どんな願ひ事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心をつにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。<sup>19</sup>二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。」

### 神の御手の中で一つとなる

キリスト者となる、あるいは、キリスト者として生きる、というのは、「一人で生きていけるようになること」ではありません。それは、キリスト者の目標とすることではありません。聖書の視点からは、そのような考えは、ただの自己義認（やせ我慢！）か、自己防衛（引きこもり！）にすぎません。わたしたちは、キリスト者として生きることによって、一人ひとりバラバラにではなく、神の御手の中で互いに一つに結ばれて生きることへと導かれているのです。

人間創造物語の中で、神は「人が独りでいるのは良くない」（創 2:18）として「助ける者」をお造りくださったとされますが、それは男女のことだけを意味しているのではないでしょう。人は一人で生きようには造られていないのです。

エジプトで奴隷としてバラバラになって生きていたヘブライ人を、神はモーセを導き手として用いられて一つの民「イスラエル」とされ、共に生きる道を備えてくださいました。その後、彼らは、自分たちがバラバラになってしまいそうになったときに、自分たちをひとつにまとめてくれる指導者を求め、遂にサウル、ダビデ、ソロモンといった王によって一つの国に属する道を獲得しましたが、それも結局、多くの者の思惑によってバラバラになり、国は二つに割れ、滅び、イスラエルの人々は離散してしまったのです。

ところが、そのような時代（国が滅んだバビロン捕囚の時代）に、預言者エゼキエルは、国が滅び、民が離散してしまっている中で、一つの希望を預言として語りました。バラバラになり、死んだも同然となっているイスラエルが、再び一つに集められ、神の前に堅く結び合わされた民として生きようになるときが来る、というのです。今日の旧約日課の直前、エゼキエル書 37 章の前半には、枯

れた骨の山がカタカタと音を立てて集められ、再び肉が付けられ、さらに神の霊が吹き込まれて、生きた者として復活する様が描かれています。そして、今日の箇所では告げられるのです。自分の力を信じ、一人で生きていけるようになろうとしてバラバラになり、実際には命の力を失ってしまっている人間が、再び互いに結び合わされ、神の御前に共に立てられ、永遠に命の力を回復して生きようになることこそが、神の人間に対する最終的なご計画なのだ、と。

### 「キリストのもの」となる

そのような神のご計画は確かなものだと、エゼキエルは預言で語りましたが、そのことを身をもってお示しくださったのが、主イエスでした。主イエスは、ご自分が「**失われたものを救うために来た**」（マタイ 18:11 異本ニルカ 19:10）と宣言されて、社会の中で疎外されて「一人で生きていくこと」を強いられ「徴税人や罪人」と一緒くたに呼ばれていた人々を、ご自分の食事の席にお招きになりました。そればかりか、「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」（マタイ 5:44）とさえお教えになりました。自分を愛してくれる人ではなく、むしろ愛してくれないような相手に対してこそ、積極的に近づき、挨拶し、関係を結ぶことを、天の父の御心として教え、それに倣うように、と言われたのです。主イエスが存在をかけてお示しくださったのは、そのような生き方を天の父の御心として突き詰めていくことが、確かに命に至る道なのだ、ということでした。

使徒パウロは、エゼキエルが預言で語ったような希望が、確かに主イエスという一人の存在の中で始まっていたことを知って、その道に従う者となった人です。パウロは、ですから、主イエス・キリストと一つになることを、繰り返し教えました。わたしたちは「キリストとの交わりに招き入れられた」（I コリ 1:9）と言い、キリストに結びつき、キリストに属する者として生きることこそが、命に至る道だと言うのです。けれども、パウロがそう教えたのは、ただ自分ひとりキリストと結びついていれば安心だ、ということではなかったでしょう。

パウロは、何よりも「教会」のあり方を教えた使徒でした。今日の使徒書日課箇所では、キリストとの交わりに招き入れられた者として、互いに**勝手なことを言わず、仲たがいせず、心をついにし思いをついにし、固く結び合う**ようにと勧告しているのです。もちろん、ここにある一つ心、一つ思いというのは、キリストの心、キリストの思いのことです。互いの中で、だれかがキリストに代わる指導者になってはいけません。パウロだろうが、アポロだろうが、ケファ（＝ペトロ）だろうが、自分たちの中のだれかを中心にした途端、キリストとの交わりで一つにされていたはずの人々が、バラバラになり始めてしまうからです。元の木阿弥になってしまうのです。ただ、わたしたちは「キリストのもの」「神のもの」ということだけに立つことで、バラバラになろうとする互いが再び、一つに集められ、神の霊を吹き入れられ、共に生きる命の力を回復する。「教会」は、そのような命を回復するプロセスに生きる者たちが、その存在をもって、その営みをもって、世に神の御心を証しする場なのだ、と、パウロは教えたのです。

## 天の父の御顔を仰ぐ天使となる

人の集団や組織がバラバラになり始めるとき、まっさきに軽んじられ、蔑ろにされるのが、「小さな者」たちです。「小さな者」というのは、実際に小さな子どもことも意味しているのですが、それだけではなく、わたしたちの意識の中で小さな存在、という意味で言われているのでしょうか。逆に言えば、わたしたちが意識的に捜し出さなければ、見ないまま、見失ったままにされてしまうような存在のことで。主イエスは、そのような「小さな者」が軽んじられないように、躓かせられないようにと、繰り返し教えられました。

ここで主イエスが語られた「迷い出た羊のたとえ」は、わたしたちの「小さな者」に対する姿勢を問うものでしょう。もちろん、「これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない」と告げられていることに、わたしたちは異存がないはず。迷い出た羊を捜しに行くくださる方、つまり神は、どの一人のことも決してお見捨てになれないと、わたしたちも信じています。けれども、このたとえでもう一つ大事なことは、そのとき山に残された九十九匹の羊たちの姿勢です。彼らが、羊飼いと同じ思いを持たず、待ちきれなくなって自分たちの思いを実現してくれるリーダーを立てるようなことをしたら、この群れはどうなってしまおうでしょうか。あるいは、勝手にリーダーを立てないとしても、羊飼いに要求して、どうするかは民主的な投票で決めようなどと言い出したら、この群れはどうなってしまおうでしょうか。わたしたちは、教会の中でさえ、案外、そのようなことをしているのではないのでしょうか。

もちろん、わたしたちは願い求めてもよいのです。「あなたがたのうち二人が地上で心をつにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる」と、主イエスは言われます。しかし、それは、「二人または三人がキリストの名によって集まるところ」でのことです。キリストが共にいてくださるところでの願い求めです。キリストの思いをもって願い求めるときのことです。

主イエスは言われました。「はっきり言っておくが、彼ら（これらの小さな者）の天使たちは天でいつもわたしの天の父の御顔を仰いでいるのである」。想像してみてください。わたしたちが意識しようともしていない小さな者の一人ひとりに、いわば守護天使が付いていて、いつも天の父の御顔を仰いでいるのです。天使が天の父の御顔を仰ぐので、その小さな者も天の父の御顔を仰ぐように仕向けられているのです。もちろん、そのような守護天使が、わたしたちにも付いてくれるのではないのでしょうか。いいえ、わたしたちには、守護天使ではなくて、「二人または三人が集まるところにいる」とおっしゃってくださる主イエスが付いてくださるのではないのでしょうか。そうです、主イエスは、ここで、こう言われているのです。「あなたたちの集まるところにわたしはいるから、あなたは、小さな者を一人捜し出してきて、そこに連れて来なさい。あなたが、その小さな者のための天使になって、天の父の御顔を仰ぐことへと誘ってあげなさい。そのとき、あなたたちは、わたしの思いをもって、いや、天の父の御心をもって、心をつにし、命の交わりの回復を喜ぶことになるだろう。」